



144 号
2020 年 1 月

最新情報は
HPからどうぞ！
ほぼ毎日更新中♪



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>

あけましておめでとうございます



社会福祉法人 光友会 理事長 五十嵐 紀子

子の年の年明けおめでとうございます。

今年はオリンピック、パラリンピックが東京で行われる年でもあり、皆様に於かれましては、世界中の方々を日本に迎え、大変盛り上がる年になると思われます。

また光友会におきましても「日中サービス支援型」のグループホームを1月1日から開設する事になり、新入居者の方々は大きな期待を持っておられると思います。

更に昨年の11月23日に実施しました文化祭では、特別企画として聴覚に障害を持つ写真家齋藤陽道氏による大きな布にプリントした写真展“夢見る風”を開催しました。企画者澤野部長には今年初めて“かわうそ賞”を授与しました。

そして、今年で4年目となりました川柳についても640余りの応募があり、大変定着してきた感があります。

他方、社会全体を見ると昨年は自然災害が多かった年となりました。まだまだブルーシートの屋根のままの暮らしを余儀なくされて居られる方が沢山おられます。また消費税が昨年10月から上がり、その影響は私達社会福祉を業とする者にも大きく影を落としています。医療費の1割自己負担から2割負担層が増加する事も同じです。

しかも、人口の減少、若い就労層の減少に逆行して、幼児の虐待、いじめによる命を落とす人々が増加しています。この問題の解決こそが私達福祉業界に課せられた重い責任と自覚し、哲学者“中村天風”の語録の一つにある様に“今日一日、怒らず、恐れず、悲しまず、正直、親切、愉快に生きよ”を皆で実践しようではありませんか。

十二支の始めの子の年の年頭にあたる御挨拶とさせて戴きます。

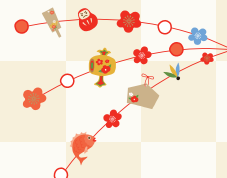


Index - もくじ -

P1 年頭のごあいさつ | P2 新春の集い | P3 コラムあーいえばこーゆーかい④
P4-7 第18回光友会文化祭について | P8-9 事業所だより
P10-11 第3回光友会福祉川柳選考結果・チャリティーコンサート他 | P12 推進協だより



新 春 の 集 い



「2020年 光友会 新春の集い」を1月5日に開催しました。

利用者の方々、法人関係者をはじめ、光友会の福祉事業を支えて下さっている地域の皆様方に集まって頂き、新しい年の門出をお祝いする事が出来ました。

式典では職員の永年勤続表彰や光友会福祉川柳の表彰など行い、改めて光友会が地域にとけこみ、永く活動してきた事を実感しました。

今年は、1月に新規グループホーム「湘南あつとほーむ・ひだまり」が開所しました。更なる飛躍の年になるよう、ご支援宜しくお願い申し上げます。

室町 辰雄



あーいえばこーゆーかい 44

理事長 五十嵐 紀子

SDG sについて

過日某銀行の支店長の来訪を受けた。お聞きするとまもなく創業100年を迎えられるという。そして、その支店長が胸にSDG s (Sustainable Development Goals)のバッジをつけておられるのに気づいた。ここ数年前から、このバッジをよく見かけるようになった。意味する事は17項目の持続可能な開発目標を立てて2030年迄に誰ひとり取り残される事のない貧困その他16項目について各人が実践しようとする運動である。

今迄建設会社や行政の方々がバッジをつけておられるのは良く見かけたし、今回ノーベル化学賞を受賞された吉野彰さんの所属する旭化成

でも取り組んでいる。

しかし、銀行の方迄という感が強かった私は、銀行さんが何を？と質問した。支店長は答えられた「自分達は質の高い教育と貧困絶滅を中心に取り組んでいるが、最初は幹部がつけていた。今では全員が付ける事にした。その事により顧客の前でも自分が何を目標に掲げ、社会に貢献しようとしているのかを自分の言葉で自信をもって伝えられるから」と。

これは正に仕事にも通じるものと実感した。目標は直接仕事と直結していなくてもよい。周囲に同じ目標を掲げた仲間がいるだけで良い。そして、その仲間の輪が大きく広がって行く事が自身にとっても励みになっていくのだと思う。そして、このSDG sのバッジを目じるしにして、今環境問題が危機的な状況にある中で1人から発信し段々と大きな輪にして世界中の幸せを目標に歩み続けませんか？皆様に一石を投げさせていただきます。

理事長 藤沢市社協表彰

去る11月15日、藤沢市民会館小ホールにて「第51回藤沢市社会福祉大会」が開催され、当法人の五十嵐紀子理事長が社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会から表彰を受けました。表彰理由は、多年にわたり社会福祉事業の発展に尽力したことです。



写真展「夢見る風」は“暮らしの場”に身を置いて 体験してもらう事を大切に考えた展示会でした。

見学された方々の声

“

ひらひらとはためく写真の下を、反対側に向かって車椅子に乗った人がすいすい通っていく。日常と非日常の混ざりあった不思議な時間。ひとりでも行けたらうけれど家族でいけて本当によかった。

“

施設の日常そのままの雰囲気と、壮大かつ最も人間の温もりに近い作品距離のベクトルの幅で圧倒された。会場入った瞬間からそれが伝わって感動した。そして、差別や偏見をやわらげる、彼のテーマに、本当に共感した。行けてよかった！！

“

写真展本当に素晴らしかった…こういう施設に入ったのもほとんど初めての経験で写真がプリントされた長い布のすぐ横には施設で暮らす方々の日常があって上手く言葉にできないけど体に染み込んだし写真展でこんなに感動したのは正直初めてでした。本当に行けてよかった。

“

写真展「夢見る風」は、体にふわんとくっついてくれる写真がよかった。障害者は遠いところに追いやられてる現実もあるけど、ほんとは人々の心や頭から自分たちとは違う存在を遠ざけているだけなんじゃないかと思う。見えてないだけでそこにいると思う。

文化祭を振り返る

11月23日第18回光友会文化祭「ふくし村のアートな縁日」は、前日からの冷たい雨にもかかわらず、当日の会場は多くの人で賑わい、大盛況となりました。



“施設に風を通す”

写真展「夢みる風」



トークイベントでは深いテーマに触れた

急遽開催された齋藤陽道氏のトークイベント。企画者（澤野職員）とキャッチボールしながら、やまゆり園での事件や“差別や偏見は今の社会で考えなくてはいけない大切なテーマ”とする内容を話し合った。重く深いテーマに触れながらも、会場は、利用者さんや展示を観に来た人でギューギューで、大人は通れない隙間を子どもたちが行き来しながら、終始あたたかい雰囲気だった。山本職員による手話通訳も素晴らしかった。この後サイン会も行われ、イベント終了時間後も長蛇の列ができた。



「多くの施設に、このような取り組みをしてほしい」写真展への思いを語る住人代表の石原生美夫さん



“福祉施設を目的地に！”

素材とクラフトのマルシェ

地域交流ホームかわうそ1階ホールでは、素材とクラフトのマルシェが開催された。出展者を含め多くの来場者が初めて施設を訪れるきっかけとなった。

新しい試みから見えてきたもの

施設で作った素材をモノづくり作家が手掛けするという、光友会では、新しい切り口。ボランティア減少や推進協会員の高齢化などの課題がある中で、これまで福祉とは縁遠かった若い世代の人達との接点を作るアプローチ。参加した作家からは、施設での開催がとても有意義だとの声が寄せられた。



“コミュニケーションを楽しもう！”

リバーシコーナー／ユア・ストーリー

今回の文化祭では目標の500人を優に超える来場があった。夏の恒例イベントである“ふくし村まつり”に比べると少ない目標となっているが、ふくし村の住人たちと来場者との間で、**コミュニケーションを楽しんでもらう**というコンセプトからすれば、500人という規模は適当な規模だったと思う。多くの催しに共通するテーマは、コミュニケーションを楽しんでもら

うこと。「視覚障害者の手を借りてなぞなぞに答えるゲーム」や雨天の為中止となった「電動車いすのツーリング」も、車いすユーザーとのコミュニケーションを楽しんでもらうという同様の意図があった。参加者が主体的に参加することを通じて気づいたことが、意識のバリアフリーに繋がれば良いという狙いがあった。

ゲームを進めるうちにいつのまにか打ち解けてる！

リバーシ（将棋も）コーナーの様子。初めて施設を訪れたという少年ふたり（手前）。対戦者（奥）は、神奈川ワークショップ利用者。はじめのうちは、お互いに戸惑う様な表情を浮かべながらも、ゲームを進めるうちに打ち解けてきた。卓上での対戦を通じてコミュニケーションを楽しんだ。

この距離感でしか得られないものがある

ユア・ストーリーの様子。語り手は西岡奈緒子さん（左奥）。筋ジストロフィーという病と向き合いながら、目標に向かって「今」という時間を大切に生きていくという貴重な内容が語られた。参加者からは、“どうやって心の葛藤を乗り越えていけば良いのか？”など、少人数ならではの対話が生まれた。



湘南希望の郷入居者からの声掛けに応じてピアノを弾いてみせる来場者。



写真展の感想を書く子どもたちに話しかける希望の郷住人の曾我和美さん。



写真家の齋藤陽道さんと希望の郷住人の石原生美夫さん。展示会へのそれぞれの想いが重なる。

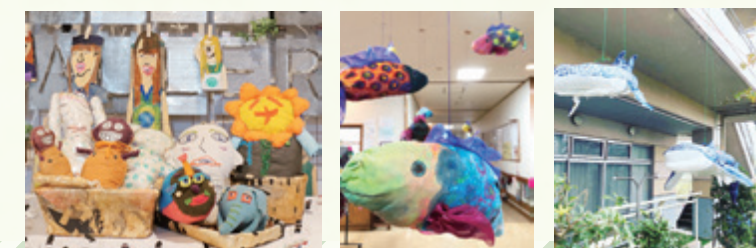
こんな場面も



多忙なスケジュールにも関わらず鈴木藤沢市長が写真展を見学する為に希望の郷を訪れた。



ケアセンターでは、点字でデザインされたカードづくりや使用済み点字の塩ビ板を使った小物入れ作り、似顔絵コーナーなどが行われ親子連れでにぎわった。



“交流の輪が大きくなってみんなの元気の輪も広がる”

ステージ／ワークショップ／詩の朗読会／アート作品展示



八重原プレーヤーズ



ハッピークローバース



横浜マジック



みちる



詩の朗読会、大佛次郎の「スイッチョ猫」など幅広い年代の人が楽しめる内容をはじめ、数名の利用者が作成した“夢見る風の詩”が披露された。

事業所だより

湘南希望の郷

ステージに花を咲かせてきました！

山崎 千夏

「枯れ木に花を咲かせましょう〜！」そうっておじいさんは手を大きく振り上げました。するとピンクの花をつけたビニール傘がパッと開き、ステージに満開の花が咲くと、観客席から歓声と拍手が沸き起こりました。

11月16日に太陽の家で開催された身障施設協ステージ発表会の演目「花さかじいさん」の一場面です。今年はナレーション、台詞、演技、合唱で「歌劇」という形にし、利用者、職員が早い時期から練習に励み



ました。そのおかげで大盛況！光友会文化祭、クリスマス会にも出演させていただきました。

神奈川ワークショップ

東京スカイツリーに行ってきた！

神崎 都至

11月15日に利用者の方たちと東京スカイツリーへ日帰り旅行に行ってきた。

天候も良く、スカイツリー展望回廊450mからの眺望は勿論、様々な空間演出でその高さを体感できました。天望デッキにある、ガラス床から真下に広がる景色もスリルが味わえました。

スカイツリーに行った事がない利用者も多く、皆さんとても楽しまれていました。



寒川事業所

横浜中華街に行ってきました！

加藤 亮郎

11月20日に日帰り旅行として「横浜中華街」に行ってきた。昨年とは違い、利用者も増え、賑やかな旅行となりました。

食べ放題グループと食べ歩きグループに分かれ中華街を散策。食べ放題形式のグループでは、王道のエビチリや酢豚、チャーハン・ラーメン、締めデザートまで食べまわりました。食べ歩きグループは定番の豚まん・小籠包・ゴマ団子を堪能し、沢山のお土産も購入できました。お腹いっぱい！ちょ〜満足！ちょ〜楽しい旅行でした！



ライフ湘南

忘年会

上西 和広

12月27日、恒例の忘年会を行いました。いつもよりちょっぴり豪華な昼食に舌鼓を打ってお腹も心も満たされた後、ミニゲームで二人羽織を行いました。まずは職員2人でお手本を行うと、お約束の衝撃（笑撃）の結末が…（笑）

皆で大爆笑した後は、利用者さん同士で控えめに（？）二人羽織を行って、ビンゴ大会・カラオケで大いに盛り上がり楽しい時間を満喫して1年を締めくくりました。

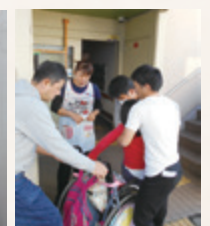
湘南希望の郷
ケアセンター

避難訓練

早川 玲

ケアセンターでは12月12日、地震を想定した避難訓練を行いました。14時から訓練開始し、利用者さんには実際に滑り台を滑ったり、職員に抱きかかえられ階段から避難する体験をしていただきました。

避難集合場所のワークショップ食堂に全員集合するまで、訓練開始から17分かかりましたが、今後も訓練を繰り返すことで、もしもの時の避難活動がスムーズに行えるよう努力していきます。



藤沢市障がい者 生活支援センター

視覚障がい者リハビリテーション体験会開催

見原 正紀

11月7日、湘南台文化センターにて、応募して頂いた4名の視覚障がいのある方を対象に、七沢自立支援ホームの訓練士と藤沢障がい者生活支援センター職員によるマンツーマン対応で、白杖の使い方等を学ぶ歩行訓練や、日常生活に便利な機器の紹介、困り事へのアドバイス等をおこないました。参加者からは「今日教わったことをすぐに実践していきたい!」等と意欲的なご発言を頂きました。



今後も障がい特性に応じた支援が広まるよう取り組んでいきます。

太陽の家 しいの実学園

サンタさんが来ました!

大竹 有希

12月20日にしいの実学園にトナカイと一緒にサンタさんがプレゼントを持って遊びに来てくれました。サンタさんの登場に子どもたちは大喜び! プレゼントは、「みんなで仲良く使ってね」とサンタさんと約束もしました。お楽しみ会が始まる前には、保護者の方と一緒にクリスマスツリーを作ったり、ハンドベルの演奏や職員がクリスマスソングに合わせて手話を披露したり、みんなで楽しく過ごしました。



太陽の家 藤の実学園

一泊旅行に行ってきました!

猪狩 千弥

10月31日、11月1日の2日間、伊豆方面へ一泊旅行に行ってきました。1日目は昼食で美味しいお蕎麦を堪能した後、「修善寺虹の郷」に行き、園内の散策を楽しみました。宿泊先は伊豆長岡温泉「小松家」。温泉を満喫し、待ちに待った宴会では地元で取れた新鮮なお魚やお肉を美味しくいただきました。

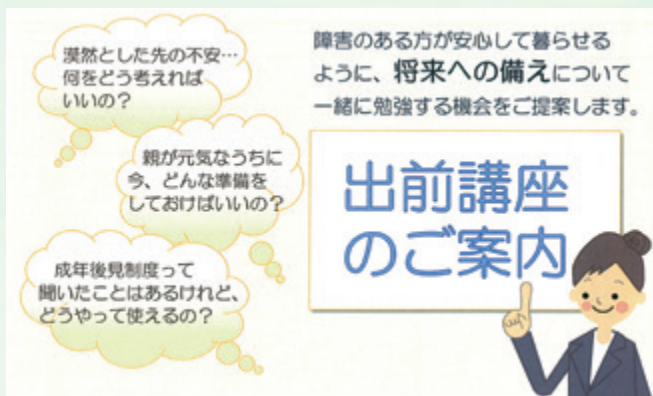
2日目は「かねふく明太パーク」に行き、明太子アイスや足湯等を楽しみました! 「小田原城」では急な階段を登り、絶景を見られた利用者さんの顔が誇らしげでした。連日晴天が続き、バスの中からの富士山も眺めることができました。とても楽しい旅行になりました!



いそご地域活動ホーム いぶき

磯子区民の方を対象とした「出前講座」始めました

稲葉 朋子



基幹相談支援センターと磯子区障害者後見の支援室コネクト・ハートでは、親なき後の備えについて出前講座を開いています。先日は家族会に参加し、成年後見制度の説明を中心に、将来に向けてどう準備をしたらよいかを一緒に考えました。ご家族からは、いつ始めたらいいのか、誰に依頼すべきかなど、成年後見制度への関心の高さが感じられました。

今後も、参加された方が気軽に質問のできる規模の勉強会を開くため、地域へ出向きます。

お問い合わせ・お申込み

磯子区基幹相談支援センター (いそご地域活動ホームいぶき)

TEL: 045-778-6635 / FAX: 045-778-6595 / Email: ibuki@lfa.jp

神奈川県眼科医会「愛の募金箱」からご寄付を頂きました

松井 正志

神奈川県眼科医会は、800名以上の眼科医で構成される大きな団体です。眼科診療所や病院の受付窓口に置かれた「愛の募金箱」から、光友会を含め県内の関係団体10か所ほどに寄付がありました。今年度は10月24日に神奈川県総合医療会館でその寄付金の贈呈式がありました。

今後とも神奈川県眼科医会の皆様のご期待に添いますように、光友会職員一同、利用者・ご家族・地域の皆様のために努力して参ります。誠にありがとうございました。



餅つき大会

神奈川ワークショップ 小原忠則



12月1日に神奈川ワークショップで恒例の餅つき大会が行われました。当日は天気にも恵まれ、暖かい日差しの中、活気あるイベントとなり、皆さん大変楽しまれました。

餅つき大会は毎年、藤沢中央ライオンズクラブ様協力のもと開催する事が出来ております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

第四回 光友会福祉川柳入選作品発表

最優秀賞

持ち味の 旨み届ける 欠け茶碗 熊田 松雄

〈コメント〉 誰もがどこかかけている存在、それぞれの持ち味が他人にはない旨味を出す。

優秀賞

介護する 俺を励ます 母が好き 横手 敏夫

白い杖 ハクジヨウながら 私の目 中年やまめ

〈コメント〉 目が不自由な人を支えているのに「はくじょう」(薄情)では杖がかわいそうだなと思ひ詠みました。

佳作

元ダンサー 今は段差で ひと苦勞 見つけよう 伸ばしてあげよう 出来ること

誰よりも 手を焼いた子が いま頼り

返納で 父の愛車は 車椅子 うちの妻 腰は立たぬが 口は立つ

かわうそ賞

すぐ側に 名医に勝る 妻の笑顔

できなくて それがそんなに 悪いこと？

手伝わす 見守って待つ それも愛

聞こえない 世界がとつても うるさいの

癪癪の奥に本音が 混ざってる

歳とれば 妻は看護師 栄養士

車椅子 押してバリアに 気付かされ

全身と 五感を駆使し 意思疎通

姪と祖父 並んで練習 箸使い

しょうがいは 個性と胸張る 父と母

たまに手を 抜いて介護が 長続き

自立する その芽を伸ばす 地域の輪

心にも 挿し木している 思いやり

あれ、今日は 俺を息子と 覚えてる

いじめたこと 忘れた義母の背を流す

ボクの顔 忘れられても 母は母

出来ないと 思わずまずは やってみる

膝をつき 同じ目線を くれる人

「変わってる」 得意伸ばせば「けた違い」



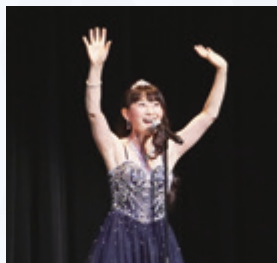
第37回 光友会チャリティーコンサート

1月17日、藤沢市民会館大ホールにて、恒例の光友会チャリティーコンサートが行われました。今回は、メインに「石川ひとみ」さん、オープニングアクトに「山形雄子」さんをお招きし、大変多くの方にご来場いただきました。

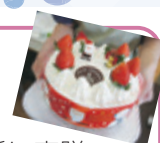
石川ひとみさんの大ヒット曲「まちぶせ」の歌声に会場は大盛り上がりでした。山形雄子さんは地元茅ヶ崎出身、これからも応援していきたいですね。

来年も皆様に喜んでいただける「チャリティーコンサート」がお届けできればと思っています。ご来場いただき誠にありがとうございました。

光友会チャリティー実行委員長 永井洋一



クリスマスケーキありがとうございました



今年もいすゞ自動車株式会社藤沢工場様より、76個のクリスマスケーキを当法人事業所に寄贈いただきました。利用者さんの笑顔をもってお礼とさせていただきます。ありがとうございました。



・・・ 光友会事業推進協議会だより ・・・

光友会事業推進協議会の企画運営会議を昨年11月11日、今年1月6日にそれぞれ開催し、次のような内容で意見交換し、方向性を確認いたしました。

昨年に引き続き、勉強会（研修会）の実施に向けたテーマ及び日程の確認を行いました。テーマとして、障害を持つ子供に対して高齢化する親の立場で将来不安なことを解消できる仕組みについて知る事を狙いとしてしました。

具体的内容としては、藤沢市社会福祉協議会が進

めている「ふじさわあんしんセンター」及び「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」の具体的な取組内容としました。市民の困りごと全般について「よろず相談」の立場で実際に現場での事例を交えての説明を聞くことにより、より身近な問題としての理解を深めることを目指します。

また、今回は幅広く推進協会員のみでなく、一般市民で同じような悩みを抱える方々も参加できる取り組みとしていくことも確認いたしました。

光友会事業推進協議会 2019年度勉強会

障害のある方とご家族のための「成年後見制度勉強会」～知っておきたい将来への備え～

光友会事業推進協議会（推進協）の2019年度の勉強会は昨年度の続編として、障害のある方とご家族への「成年後見制度勉強会 part.2」を企画しました。今回は、成年後見制度の身近な相談先としての藤沢市社会福祉協議会から2名の講師をお迎えし、より具体的に「今、何をすればよいか」についてお話をさせていただきます。

【プログラム】

第1部「成年後見制度の振り返りとあんしんセンターの役割」

講師：古舘 昌幸（ふるだて まさゆき）様（藤沢市社会福祉協議会ふじさわあんしんセンター）

第2部「コミュニティソーシャルワーカーによる事例を交えた具体的な支援」

講師：伴 瑞穂（ばん みずほ）様（藤沢市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー）

【開催日】 2020年2月13日（木）10：00～12：00（開場9：30）

【会 場】 藤沢市役所 5F 市民利用会議室 2

【定 員】 60名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

【費 用】 無料

【申 込】 湘南希望の郷ケアセンター（担当：松井）

電話：0466-48-4586 FAX：0466-48-2202 Eメール：matsui@lfa.jp

【主 催】 光友会事業推進協議会 【後 援】 藤沢市社会福祉協議会

※お申し込みは、2020年2月6日（木）までに、電話かFAX（裏面申込用紙）、またはEメールにてお願いします。
※手話通訳が必要な方はお申し込み時にお知らせください。

会費納入と新会員加入をお願いいたします。1口2,000円

口座番号 00260-2-49486（赤色郵便振込用紙） 口座名義 光友会事業推進協議会
お問い合わせ：0466-48-1500（担当：一杉）

編集後記

平成から令和になり、大きな変化があった2019年。自分自身も、変化が大きかった1年となりました。仕事では、自分の“やるべきこと”とは、何か？を考え行動をしてきた1年。振り返って、何ができていたのかは、いまだによくわかりませんが…。時代の流れにどのように沿っていくのか、変えていく部分と変えずに行っていく部分。その難しさが入り混じった1年となったと感じています。皆さんは、どんな1年を過ごしましたか？（Y.O.）

編集委員

五十嵐理事長、森（事務管理部）、井地・高野・上西（就労福祉部）、村井・丸山（藤沢北地域福祉部）、松井・大貫（在宅・公益福祉部）、猪狩・大竹（藤沢南地域福祉部）、加古川（磯子地域福祉部）

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、又は団体等の了解を得ています。

季刊

LFA 第144号

発行日 2020年1月

発行 光友会

責任者 理事長 五十嵐 紀子

発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1

社会福祉法人 光友会

電話 0466-48-1500

印刷所

光友会 神奈川ワークショップ